

Gメソッドコーチング：源泉へ繋ぐ技法

クライアントを導くための核心的原則：マインドセット・注意点・創造の原則

空間の神さまとの対話

「教える人」ではなく、「繋ぐ人」である

Old Model



専門家が「答え」を与える

G Method



「空間の神さま」と繋ぐファシリテーター

あなたは解決策を持つ「専門家」ではなく、伴走する「触媒」です。

コーチの基盤：自己体験の深化



Coaching Session

Coach's Self-Experience

「苦しみの鎖」と対峙した経験だけが、
揺るぎない器（プレゼンス）を作る。

理論ではなく、
体験が共感の源泉となる。

あなた自身が、最初のクライアントであれ。

私たちの3つの使命

「繋ぐファシリテーター」
(源泉へ繋ぐ)

「共に問いを発する探求者」
(答えを待つ)

「プロセスの守護者」
(自立を守る)

尊い「触媒」として、誇りを持って。

最大の落とし穴：「投影」と「転移」



- 投影 (Projection):
自分の感情を相手に重ねる。
- 転移 (Transference):
クライアントが親への感情を
コーチに向ける。
- 逆転移 (Counter-transference):
コーチが過剰反応する。

無自覚なセッションは「自己セラピー」へと墮落する。

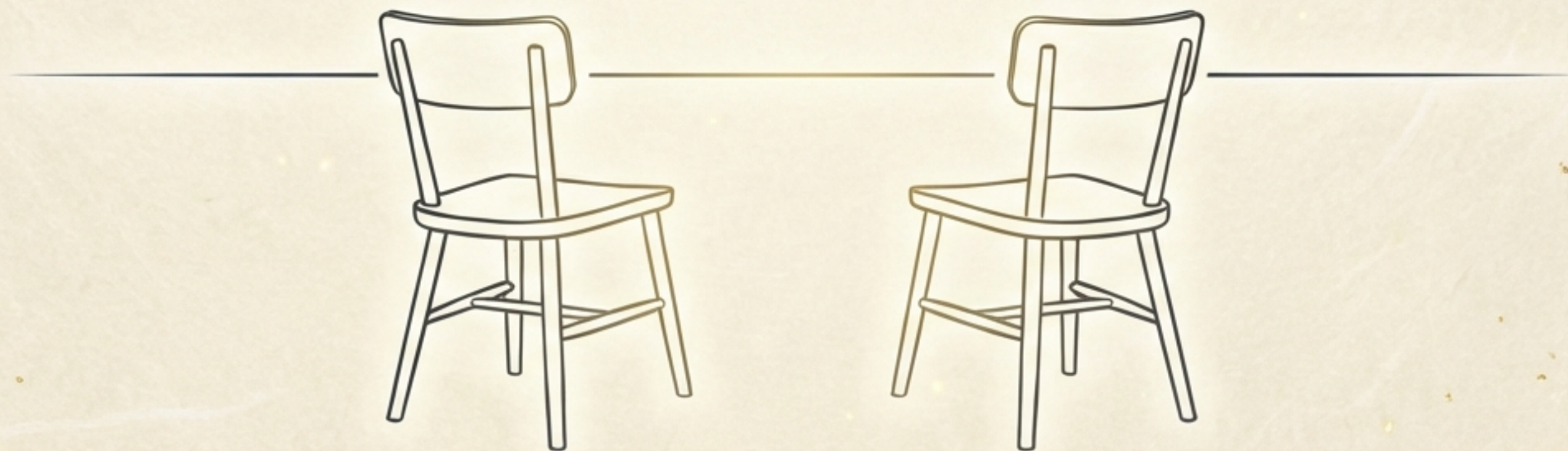
ネガ感ツイートのマスター：太陽光パネルを磨く



これらは「苦しみの鎖」。
感情を抑圧せず、空間に「排泄（ツイート）」して浄化する。

水平的パートナーシップ：「一緒に答えを探す」

- コーチが「答え」を持った瞬間、パートナーシップは崩壊する。
- 絶対的な信頼と受容の場（安全基地）を作る。



自動操縦のサポート — 操縦桿を奪ってはいけない。

創造の原則：138億年の宇宙の法則

逆転移を力に変える「クリエイターズ・チェック」

Motive
(愛)

Vision
(二度つくられる)

Joy
(喜びの波動)

Focus
(全集中の創造)

Reality

原則 1：動機は「愛」



- 動機は「愛」（利他愛）。
- Check: 「これは誰かの幸せにつながるか？」

原則 2：すべては二度つくられる



- 第一の創造（構想）→ 第二の創造（具現）。
- 明確なイメージと完了形のビジョンを持つ。

原則 3：喜びの波動



- 「いい気分で待つ」ことが、最大の創造活動。
- 焦らず、果報を寝て待つ。

原則 4：全集中の創造



- 時間の経過を忘れるほどの没頭（ゾーン）。
- 今この瞬間に全エネルギーを投入する。

違和感は、ズレのサイン（通知音）

ネガティブな感情は
「失敗」ではありません。

それは周波数が
「創造の源泉」から
外れたことを
知らせるブザーです。



無理に抑え込まず、
ツイートして回線を
繋ぎ直す。

パラレルワールド：未来は「選ぶ」もの

1. 現実から出発しない
(制約を脇に置く)

2. なりたい未来から出発する
(純粋な問い)

3. 未来の感情を今味わう
(予祝・感謝)

「原因は未来、結果は今」

エネルギーの源泉：セルフツイート



自分へ：「ありがとう」

他者へ：「ありがとうございます」

空間の神さまへ：「感謝いたします」

コーチの自己肯定感が、クライアントの希望のモデルとなる。

最終ゴール：「空間ツイートマスター」

力は、その「不在」によって証明される。

クライアントが自らの力で答えを見出す。
もはやコーチを必要としない状態（完全なる自立）。

クライアントが自らの力で答えを見出す。
もはやコーチを必要としない状態（完全なる自立）。



人生という最高のショーを創造しよう

私たちは「教える者」ではなく、奇跡を起こす「触媒」です。
原則に立ち返り、空間の神さまと共に、最高の未来を創造（クリエイト）しましょう。